

	項目	内容	
運転方式	方向性乗合全自動方式	かご運転方向と同方向の呼びに応じて順次停止していく、一般的な運転方式です。	○
	2～8台群管理方式	複数台のエレベーターを一括で管理することで、1台ずつがばらばらに動くよりも効率よく運行できます。	●
	ファジイ群管理方式	不確定な要因を多く含むエレベーター制御に、人間の持つあいまいさを理解する要素（ファジイ理論）を織り込んだもので、人間の脳が行う制御に近いエレベーター制御が可能です。	●
	AI（人工知能）機能	交通パターンを日々学習し、そのビルの交通需要に適したプログラムを作ります。また、そのプログラムに修正を加えていくことで待ち時間を大幅に短縮することが可能です。	●
管制運転（防災機能）	地震時管制運転（S波）	地震感知器が一定値以上の揺れ（S波：本震）を感知すると、かご内の案内表示灯が点灯し、管制運転のアナウンスを行います。エレベーターは直ちに最寄り階へ停止してドアを開け、乗客を降ろします。	○
	PSセンサー付地震時管制運転	S波よりも先に伝わるP波（初期微動）の段階で地震感知器を作動させるもので、感知後の動きはS波の場合と同様です。	●
	火災時管制運転	火災時に、監視盤のスイッチを入ると（または、建物の自動火災報知器と連動）、全ての呼びを取り消すと同時に、かご内の案内表示灯が点灯し、管制運転のアナウンスを行います。エレベーターはあらかじめ設定された避難階に向けて走行し、到着後ドアを開けます。	●
	自家発時管制運転	停電時、自家発電機の供給により、あらかじめ設定された避難階に向けて走行します。その後は電源の供給量に見合った台数のエレベーターを通常運転させます。	●
	停電時自動着床装置	停電時、停電灯とかご内の案内表示が点灯し、管制運転のアナウンスを行います。電源を専用バッテリーに切替えて最寄り階停止し、ドアを開けます。	●
	煙感知器連動管制運転	火災時には、堅穴区画の関係で、エレベーターの出入口にシャッターが下りている場合があります。この様な場合に、シャッターが下りていない階を探して走行し、到着後ドアを開けます。	●
運転機能	故障時最寄り階自動着床機能	エレベーターが何らかの原因で階間停止した場合、エレベーターを動かしても安全上問題がないと判断すると、最寄り階まで運転しドアを開きます。	○
	かご呼び優先運転機能	かご内のスイッチをONにしてからかご呼びを登録すると、その登録階に到着するまで乗場呼びに応答しない、かご呼び優先サービスを行います。	●
	ホームランディング	最終呼びに応答し終えたかごは、ドアを閉じた後一定時間新たな呼びが発生しなければあらかじめ設定した基準階へ走行し、待機します。	●
	急行分割運転	サービス階を上層と下層に分割することで、輸送能力の向上を図ります。	●
	特定階集中サービス機能	ある特定の階が混み始めたと判断すると、自動でその階にかごを向かわせ、混雑解消を図ります。	●
	ベットの仕様	かご内のベットボタンを押すことで、乗場のインジケーターのベット表示灯が点灯し、他の利用客に配慮をします。	●
	トランク連動運転機能	かご内トランクの使用時、エレベーターが到着した階でのドアが開く時間を30秒にするものです。	●
	ドア繰り返し開閉機能	障害物などが原因でドアが閉まり切らないとき、ドアを繰り返し開閉して障害物を取り除くことに努めます。また、ドアが開ききらないときは他の階まで走行し、ドアを開くことで閉じ込め故障を防ぎます。	○
安全機能	ネクストランディング	ドアを開ききらないとき、他の階まで走行しドアを開けます。	○
	定員超過防止装置	乗客の乗り降りの最中に定員超過を検出すると、ブザーを鳴らして乗り過ぎを防止します。	○
	ドアリオープン	ドアを閉じかけたエレベーターの出発方向と同方向の乗場ボタンを押すと、ドアはリオープンします。	○
	光電式ドアセンサー（2ビーム）	エレベーターの出入口に赤外線センサーを設け、センサーを遮ると、ドアは反転します。	●
	モニター付き光電式ドアセンサー	センサーを遮ってからの時間をカウントすることで、乗客の乗り降りの状況を判断します。ドア開時間を減少させることによって、サービスの質を向上させる機能です。	●
	光電式ドアセンサー（マルチビーム）	光電式ドアセンサー（赤外線センサー）が出入口の上から下まで何本も張り巡らされており、センサーを遮るとドアは反転します。	●
	ドア開放機能	ドア開放ボタンが押されると、ドアが約3分間開いたままになります。荷物の積み込み、積み下ろし時などに便利です。	●

	項目	内容	
便利機能	運行遅延防止機能	乗場ボタンが何らかの原因で押しっぱなしの状態になった場合、運行の遅延を防止するために、一定時間経過後、押しっぱなしになっているボタンの登録を無効にし、次の呼びに応答させる機能です。	○
	ドア開閉時間自動調整機能	かご呼びのみの登録階に到着した場合、乗場呼びのみの場合、両方の場合の3パターンでドア開時間を自動調整します。	○
	反転かご呼び自動取消し機能	走行方向と同方向の最終かご呼びに応答した後、登録されている全ての背後呼び(走行方向と逆方向の呼び)を取り消します。	○
	満員通過機能	かごが満員の状態で出発すると、それ以降の乗場呼びには応答せず、かご呼びのみに応答します。	○
	強制ドア閉機能	一定時間以上ドアが開いた状態が続くと、警報音を鳴らしながら強制的にドアを閉じます。	○
	特定階ドアタイム延長機能	ロビー階ともう一箇所、ドアが開いている時間を他の階より延長することができます。	●
	特定階強制停止機能	特定階(ホテルのロビー階など)を通過する際、呼び登録の有無に関わらず、強制的に特定階にかごを停止させ、ドアの開閉を行います。	●
	いたずら呼び自動取消し機能	かご内荷重とかご呼び登録数から、いたずらで複数個のかご呼びを登録されたと判断すると、すべてのかご呼びを取り消します。	●
	かご呼び登録取消し機能	行先階を間違えて登録してしまった場合、2度そのボタンを押せば登録はキャンセルされます。	●
ユニバーサル機能	視覚障がい者兼用仕様	点字、かご内ブロックタイル、音声合成アナウンス機能など、視覚障がい者への配慮を行った仕様です。	●
	聴覚障がい者兼用仕様	インターホン応答表示、インターホンボタンの呼び出し時点減、応答時点灯など、聴覚障がい者への配慮を行った仕様です。	●
	車いす兼用仕様	専用乗場ボタン、光電式ドアセンサー、背面鏡など、車いす利用者に配慮しました。	●
セキュリティ機能	防犯カメラ画像転送機能	連続画像を受信するため、その場の状況をリアルタイムで確認できるので、適切な操作が可能になります。	●
	エレリダーシステム	マンションのエントランス階で、非接触キーや虹彩認証との連動によりエレベーターを特定の方(居住者)だけが利用できるシステムです。	●
	防犯直通運転	乗場の防犯運転ボタンを押すと、乗客の乗車していないかご(かご呼びが登録されていないかご)が到着し、乗場呼びに応答することなく、目的階まで走行します。	●
	エレベーター・マネジメントシステム	エレベーターの監視制御システムで、エレベーターの監視や安全から運行システムの遠隔操作まで行うことが可能です。	●
	かご内防犯専用ボタン	かご内で何らかの非常事態になったときに押すと、非常ベルが鳴動し、各階強制停止運転になります。	●
	かご内防犯カメラ	かご内にカメラを設置し、管理人室のモニターでかご内の状況をチェックすることが可能です。また、かご内にカメラを設置することで、犯罪の抑止効果を高めます。	●
	乗場防犯モニター	かご内をモニターして、犯罪心理を抑制します。	●
	防犯ベルト	かご内で何らかの非常事態になったときに、かご内上部に設置されているベルトに触れると、非常ベルを鳴らしながら最寄り階に停止し、ドアを開きます。	●
	特定階サービス切放し機能	かご内ボタン、キースイッチなどにより、特定階に停止させない機能です。	●
	暗証コード式パーソナル運転機能	かごボタンで暗証番号を入力することで、ある特定階(屋上階、マンションのオーナー宅階など)へのかご呼び登録が可能になります。	●
省エネ機能	かご内照明・ファンの自動休止機能	最終呼びに応答後、一定時間新たな呼びが発生しなければ、自動的にかご内の照明及びファンを休止させます。	○
	自動休止スケジュール運転機能	設定時間になると、あらかじめ設定してあるパーキング階に向かいます。到着後かご内照明を消灯し、ファンを休止します。	●
その他の機能	かご内クーラー	かご内を冷房して、より快適なかご内環境をつくります。	●
	遮煙乗場ドア	エレベーターの乗場ドアに遮煙性能をもたせたものです。	●
	高調波対策	VFインバーター制御の採用により発生する、高調波の被害を軽減するための対策です。	●
	BGMスピーカー(非常放送用兼用)	かご上にスピーカーを取付けることにより、BGMや非常用放送を流すことができます。	●
保守関連	遠隔監視・点検機能	エレベーターとサービス情報センターを電話回線で結ぶことで、24時間体制でエレベーターを遠隔監視します。利用者の少ない時間帯に、自動でかごを動かして、ドアの開閉状態やブレーキの効き具合、着床制度などを自動で点検します。	●*
	遠隔救出機能	万が一、閉じ込めが起きた場合は、エレベーターからサービス情報センターに自動連絡し、閉じ込められた方 <sup>※</sup> と直接会話するとともにカメラで状況を常に把握し、遠隔操作により通常約10分でスピード救出が可能です。	●*

※ 電話回線のトラブル、法定安全装置の作動、および故障内容により、遠隔救出できない場合があります。

○:基本仕様 ●:有償付加仕様

\* 弊社との保守契約が必要です。